

注目ニュース

Topics 01

カシオグループ2社が情報化促進貢献企業として
経済産業大臣表彰を受賞

2008年9月、経済産業省、内閣府、総務省、財務省、文部科学省、国土交通省が、情報化社会の発展のために毎年取り組んでいる「情報化月間」の一環として、ITへの先進的な取り組みを評価する「情報化促進貢献企業等表彰」を行いました。カシオ計算機はITインフラの

統合化・標準化を遂行し、社内の業務改革を推進した取り組みにより「IT投資効率化促進部門」で、またカシオ情報機器は中小企業の実態に合わせた事務処理専用機器の開発・販売により「情報化促進部門」で、それぞれ経済産業大臣表彰を受賞しました。



Topics 02

世界初パーソナル電卓『カシオミニ』が
「重要科学技術史資料」に登録

国立科学博物館による重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）登録制度の第1回登録資料に『カシオミニ』が選ばれました。電卓が一般家庭に普及するきっかけを作り日本人の生活に大きな影響を与え、多くのパーソナル情報機器開発の礎となった点などが評価されてのことです。

重要科学技術史資料とは「科学技術の発達史上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つ」、「国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えた」科学技術史資料であり、登録制度はそうした資料の保存・活用を目的としています。



Topics 03

中国で日本語論文コンテスト「カシオ杯」に協賛

中国の現地販売拠点カシオ上海が、中国の大学院生を対象とした日本語修士論文コンテスト「カシオ杯」に協賛しました。中国での日本語学習者増加を背景として、日本語教員の早期育成のため、中国日本語教育学会、中国国家教育部高等教育指導委員会、北京日本学研究中心の主催で昨年からの第1回目が、開催

されています。電子辞書メーカーとして中国現地における教育分野への貢献を図るため、名称を「カシオ杯」として、コンテストへの協賛をおこないました。「カシオ杯」は今後毎年開催を予定しており、当社でも引き続き支援をしていきます。



Topics 04

ハイスピードテクノロジーによる
新世代デジタルカメラを発売

EX-FC100

EX-Z400

デジタルカメラ「EXILIM」の新品として、高速連写性能を小型・薄型サイズに収めたハイスピードデジタルカメラや、デジタルカメラとしては世界初*となる動画合成機能を搭載した新しいスタンダードモデルを発売しました。いずれも「ハイスピードテクノロジーでデジタルカメラを革新する」をコンセプトに、従来にはない新しい用途の提案によってデジタルカメラ市場を拡大できるとの期待がかかる意欲作です。

*2009年1月現在。

● 小型サイズのハイスピードデジタルカメラ
「HIGH SPEED EXILIM EX-FC100」

毎秒30枚の超高速連写や最大1,000fpsのハイスピードムービーを、小型サイズで実現し

ました。高速連写性能を活かした機能として、スポーツシーンや動物など素早い被写体の動きをモニターにスロー表示しながら決定的瞬間でシャッターを押せる<スローモーションビュー機能>、集合写真などを撮るとき、高速連写した画像の中からブレや瞬きのないベストの1枚だけを自動選択して保存できる<いち押しショット>など、画期的な機能を搭載しました。従来は撮り逃していた「撮りたい瞬間」や「目に見えない動き」を幅広いユーザーが簡単に撮影できるデジタルカメラです。



シャッターを1回押すだけで、1秒間に最高30コマの撮影ができる画期的機能。



● 動画を合成できるデジタルカメラ「EXILIM ZOOM EX-Z400」

高速画像処理により、撮影した動く被写体を切り抜いて、それを別の静止画に合成することで、背景の中で被写体だけが動くという画像を作成できる<ダイナミックフォト機能>を搭載しました。今まではパソコンでなければ不可能だった楽しい映像制作がデジタルカメラだけでおこなえます。

さらに「友達にメールを送りたい」「フォトフレームに飾りたい」という、ユーザーの要望に応える無料のオンラインデータ変換サービス「ダイナミックスタジオ」も用意しました。このサービスを使うことで、デジタルカメラで作成した<ダイナミックフォト>を、PC、デジタルフォトフレーム、携帯電話などに対応する動画ファイルへと変換することができます。オリジナリティ溢れるeグリーンティングをメールで送付するなど、撮る楽しみや見る楽しみだけでなく、創る楽しみが広がるデジタルカメラです。



高速連写で撮影した画像から動く被写体を背景から切り抜き、別に撮影したお気に入りの静止画に合成。



「ダイナミックスタジオ」ウェブサイト